

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		6/9 （6/2との比較）	6/9 （6/2との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	1.42% （+0.02）	81.91円 （+0.11%）	+2.3% 2017年1Q	0.50%	住宅着工件数は市場予想を下回る一方、雇用者数は市場予想を上回る内容。英国総選挙や米国の政治状況、ECB（欧州中央銀行）理事会などの展開をにらみながら、国債利回りは小幅上昇。カナダドルは対円で上昇。	製造業売上高や中古住宅販売件数などの発表が予定され、引き続き景況感の改善度合いを探る環境。米国の利上げが確実視される中、国債利回りは上昇する可能性があると思われる。また、原油価格にも注目。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ブラジル 	BB	10.10% （▲0.29）	33.47円 （▲1.55%）	-0.4% 2017年1Q	10.25%	汚職隠ぺい疑惑の動向をにらみ神経質な相場展開が継続。2014年の大統領選挙に絡む裁判の判断を控え、リアルは対円、対米ドルともに下落。インフレ率の低下などから、国債利回りは低下。	小売売上高などの発表を予定。高等選挙裁判所が大統領選挙有効との判断を下したものの、政治リスクへの警戒感は今後も継続することが見込まれ、債券・為替市場ともに神経質な展開を想定。
	Ba2	 金利低下		 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A	7.08% （▲0.14）	6.07円 （+2.73%）	+2.8% 2017年1Q	6.75%	メキシコ州の知事選で与党候補が勝利したことで、政治リスクがやや後退。米商務長官の通商関係への前向きな発言も材料となり、国債利回りは低下。ペソは対円、対米ドルともに上昇。	FOMC（米連邦公開市場委員会）で利上げが見込まれることから、国債利回りは上昇圧力のかかりやすい展開を想定。ペソはNAFTA（北米自由貿易協定）再交渉を見据え神経質な展開を予想。
	A3	 金利上昇		 景気安定	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		6/9 （6/2との比較）	6/9 （6/2との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.40% （▲0.01）	83.09円 （+1.10%）	+1.7% 2017年1Q	1.50%	中銀は政策金利を据え置き、景気の先行きについて明るい見通しを示した。GDP（国内総生産）は前期比で減速したものの、長期的な経済成長を維持。国債利回りは小幅低下。オーストラリアドルは対円で上昇。	消費者信頼感指数や雇用統計などの発表が予定され、景況感改善の持続性を見極める環境。米国の金融政策動向も注目される中、国債利回りは上昇する可能性があると思われる。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	2.76% （▲0.01）	79.56円 （+0.86%）	+2.7% 2016年4Q	1.75%	乳製品落札価格や製造業活動指数は上昇。政府と中銀は現総裁退任後の今年9月以降もインフレ目標を1～3%で維持することを合意。ニュージーランドドルは対円で上昇。国債利回りは小幅低下。	発表予定のGDP（国内総生産）は前期比で伸び率が高まると予想。その他に住宅販売や製造業PMIなどの経済指標が発表される予定であり、景気が底堅く推移していることが確認される見込み。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.47% （▲0.01）	12.98円 （▲1.06%）	+2.6% 2017年1Q	0.50%	経常黒字が拡大し、鉱工業生産も回復。インフレ率は市場予想に沿った内容。不動産協会発表の統計で、オスロの住宅価格が前月比マイナスに。ノルウェークローネは対円で下落。国債利回りは小幅低下。	住宅価格にピークアウトの兆しが見られるものの、経済全体では緩やかな景気拡大局面にある。中銀による企業アンケート調査の発表を予定。今後半年の生産が順調に拡大するとの見通しが維持されているかに注目。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		6/9 (6/2との比較)	6/9 (6/2との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
南アフリカ 	BBB-	7.50% (+0.01)	8.52円 (▲1.21%)	+1.0% 2017年1Q	7.00%	GDP（国内総生産）は前期比でマイナス成長となり、2009年以来の景気後退に。冴えない経済指標を受けて、ランドは対円、対米ドルともに下落。国債利回りは小幅上昇。	企業信頼感指数や小売売上高などの発表を予定。格付機関ムーディーズによる同国債務格付けの格下げがなされ、投資適格級は維持されたものの、政治的な不透明感の残存から債券・為替市場ともに上値の重い展開を予想。
	Baa3	 金利上昇	 為替安	 景気鈍化	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	6.68% (▲0.03)	0.83円 (+0.12%)	+5.0% 2017年1Q	4.75%	海外からの資金流入などを背景に、外貨準備高は6カ月連続で上昇し、消費者信頼感指数も4カ月連続で上昇。ルピアは対円、対米ドルともに上昇。国債利回りは小幅低下。	金融政策決定会合を予定し、政策金利は据え置かれる見込み。国内景気が堅調に推移する中、相対的な利回り水準の高さが選好されやすいことから、債券・為替市場ともに堅調な推移を予想。
	Baa3	 金利横ばい	 為替安	 景気安定	 据え置き局面		
インド 	BBB-	6.61% (▲0.15)	1.72円 (▲0.75%)	+6.1% 2017年1Q	6.25%	金融政策決定会合を実施し、政策金利の据え置きを決定。中銀によるインフレ率見通しの下方修正を受けて、国債利回りは低下。ルピーは対円、対米ドルともに下落。	インフレ統計や鉱工業生産などの発表を予定。鈍化基調のインフレ率に注目。国内改革の進展が好感されやすいが、FOMC（米連邦公開市場委員会）などを控え、債券・為替市場ともに左右される展開を予想。
	Baa3	 金利横ばい	 為替安	 景気回復	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

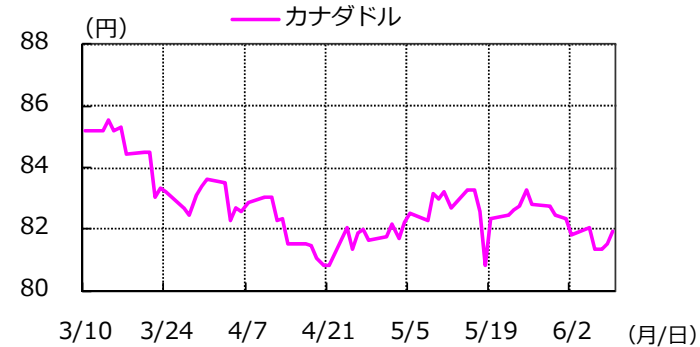
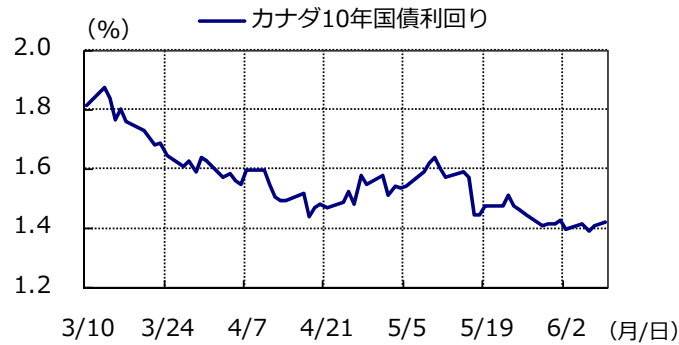
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

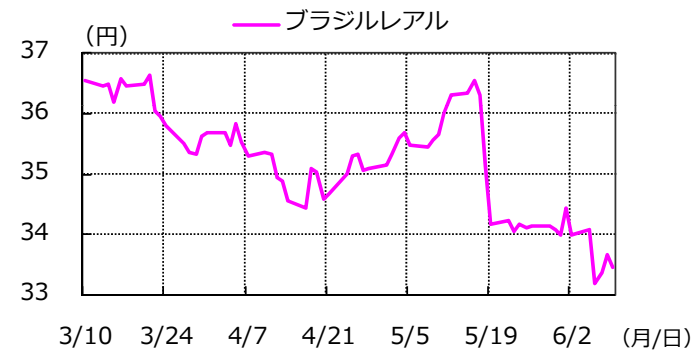
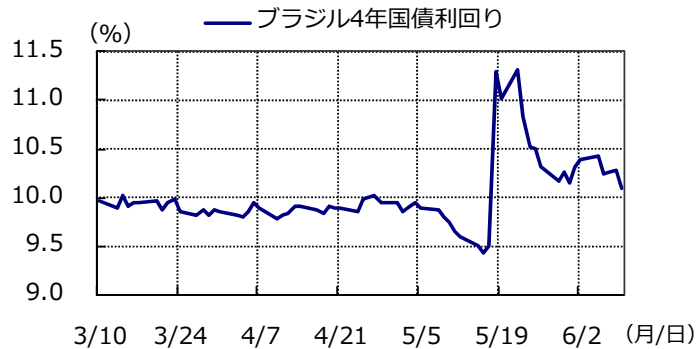
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/3/10～2017/6/9

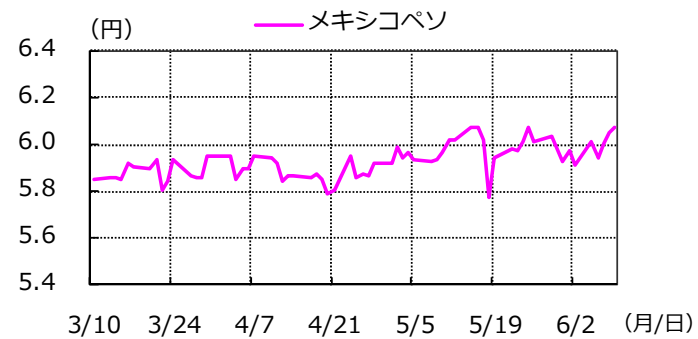
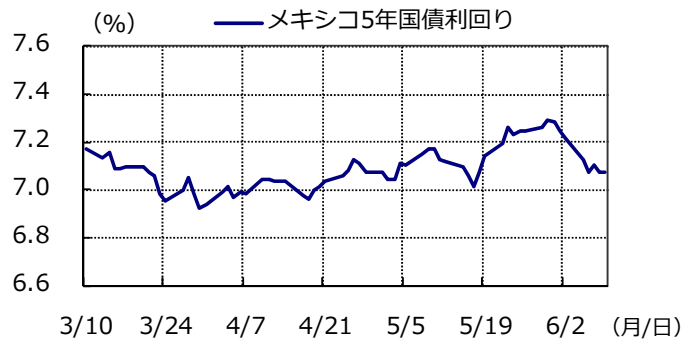
カナダ



ブラジル



メキシコ

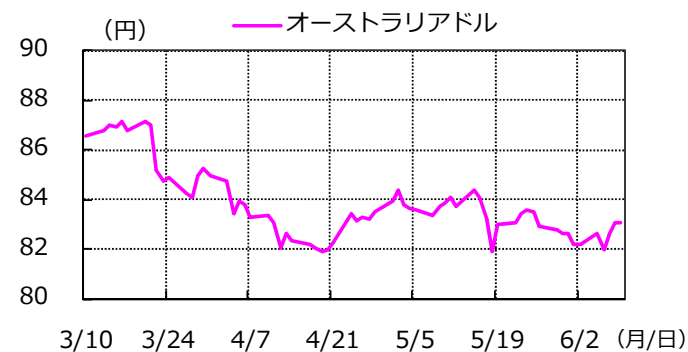
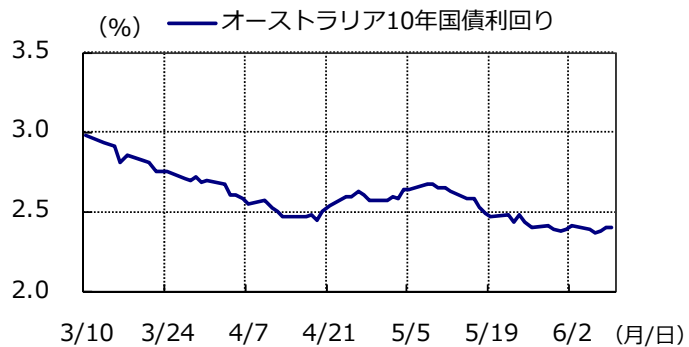


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

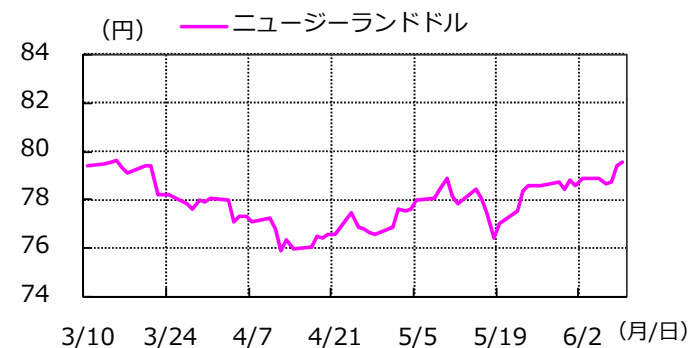
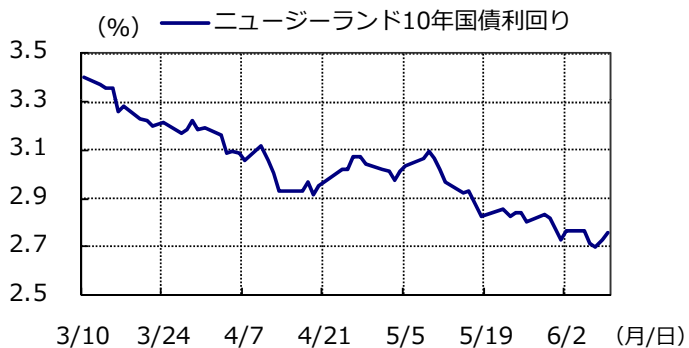
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/3/10～2017/6/9

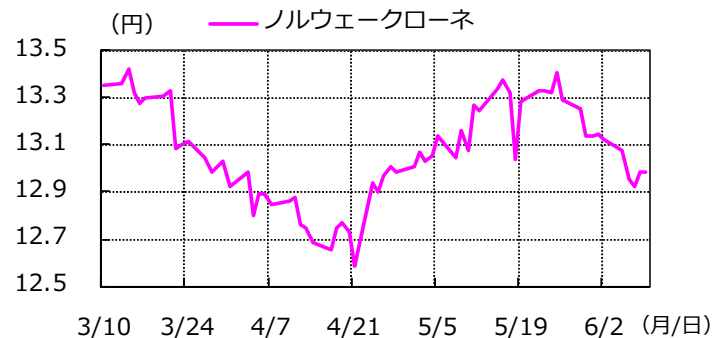
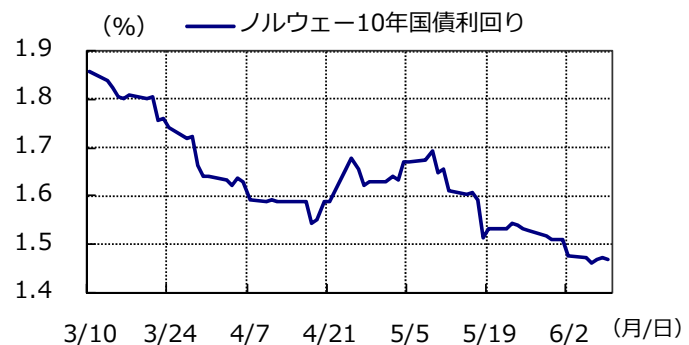
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

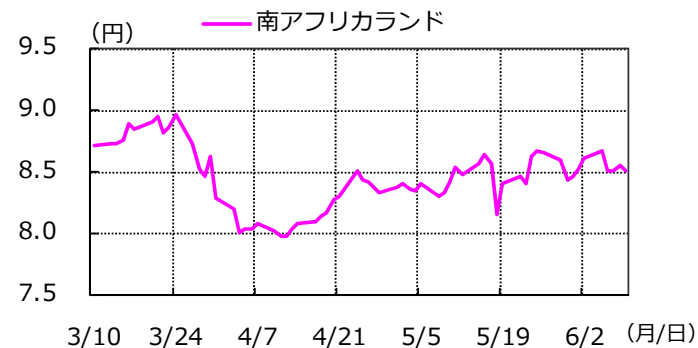


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。(出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成)

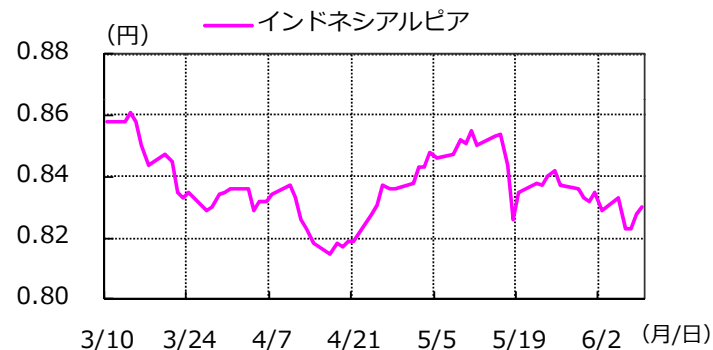
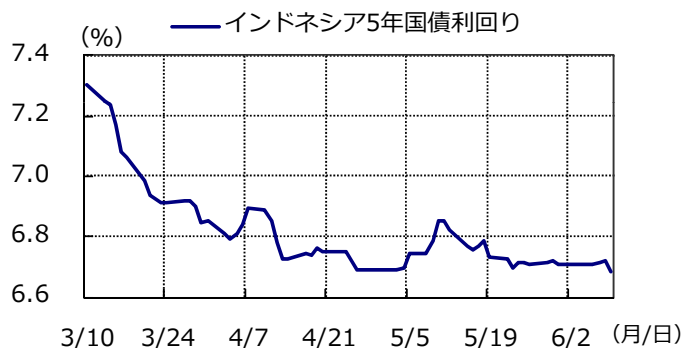
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/3/10～2017/6/9

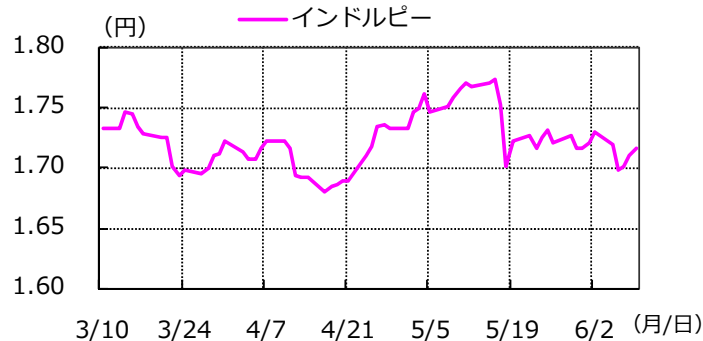
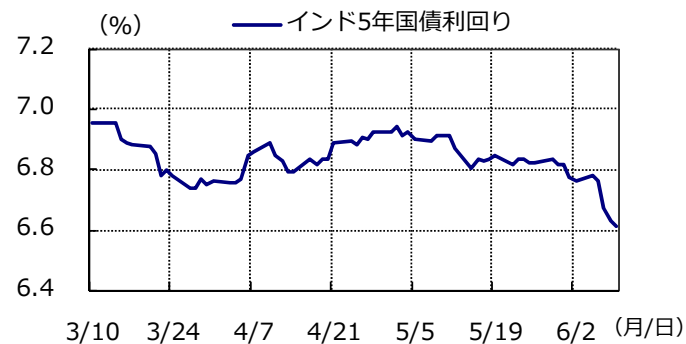
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

【ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限4.104%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。